

○ 本時の目標

音の重ね方や反復を聴き取り、それらの効果を感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととのかかわりについて考え、魔法を進化させるフレーズをどのようにつくるかについて思いや意図をもつことができる。

○ 本時の指導過程

| 学習活動及び学習内容 | 教師のかかわり |
|--|--|
| <p>1 前時学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Aパートの聴取 <ul style="list-style-type: none"> ・ どの魔法か <p>2 本時学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">音の重ね方や反復の仕方を考えて、魔法を進化させるフレーズをつくろう。</div> ○ 全体像の確認 ○ Bパート(魔法を進化させるフレーズ)作成時の条件の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aパートとは異なる楽器を使用する。 ・ 反復の回数やBパートを重ねるタイミングを考える。 </div> <p>3 全体でBパートの音の重ね方や反復の仕方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽器の選択 ○ Bパートの決定 ○ 音の重ね方や反復の仕方の検討 <p>4 グループでテーマに合った楽器や奏法を選択し、Bパートをつくり、適宜Aパートと合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Bパートの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 役割と楽器の選択 ○ Aパートと合わせる練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 反復箇所や回数の確認 ・ 決定したことの記譜 <p>5 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音の重ね方や反復の聴取 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表現の工夫についての感想の共有 ○ 学びに生かされた仲間の意見や表現 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時につくったAパートをいくつか紹介し、音色からどんな魔法かを想像させることで、思いや意図をつなげて考えることができるようにする。 ○ Bパートを加えることで魔法が進化することを告げ、本時学習の見通しと期待感をもつことができるようにする。 ○ スコアの例を提示し、BパートをAパートに重ねることや反復の仕方を考えることを確認することで、音楽全体の見通しをもって全員が音楽づくりに取り組むことができるようにする。 ○ 教師が以下のような具体例を示し、魔法が進化するためにはどのようにBパートをつくればよいのか、全体で話し合う場を設定することで、グループで工夫する観点に気付くことができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例) A 空を飛んで山の上まで行く魔法 B さらに飛んで宇宙まで行く魔法</p> </div> ○ ホワイトボードに「まほうの音楽」全体を図形譜で記譜させることで、つくった音楽をいつでも再現したり思いや意図を共有したりできるようにする。 ○ 意見を出した仲間の名前をグループのホワイトボードに記入させる。そうすることで、全員が意見を出したうえで話し合いを進めていく実感をもつことができるようにする。 ○ 音の重ね方や反復の仕方に工夫があるグループの音楽をいくつか聴取させることで、多様な表現のおもしろさを感じることができるようにする。 ○ 仲間の考えや表現が生かされた場面を想起させ、全体で共有することで、仲間と協働して学ぶよさを実感できるようにする。 |

○ 本時の評価規準

2つのパートの音の重なりや反復を聴き取り、それらの効果を感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととのかかわりについて考え、仲間と協働しながら魔法を進化させるフレーズをどのようにつくるかについて思いや意図をもって図形譜に表している。

(思考・判断・表現①)【記述分析】